

# 一般社団法人 関東観光広域連携業推進協議会

## 2020 年度実施事業概要

### I. プロモーション事業

国際的認知度の高い「東京」を前面に出したプロモーションネーム「TOKYO & AROUND TOKYO」を活用した訴求を引き続き行い、東京及び関東広域の認知向上と興味・関心を高める取り組みを行なった。

#### (1) 欧米豪市場

##### ① 東京オリンピック・パラリンピック大会を契機とした TOKYO&AROUND TOKYO

###### デジタルプロモーション事業

実施内容 大規模競技大会開催の誘客拡大の好機に関東広域の認知度向上と、当該地域内での周遊促進を目的に、a)連携先自治体の観光情報を掲載した特設 WEB サイトを構築し、インターネット広告を活用したプロモーションを行った。また b)協議会の SNS アカウント(フェイスブック及びインスタグラム)を開設し、トラベルサイクル(旅マエ)に適した連携先自治体の観光情報を、旅行者目線で作成された U G C を活用して情報発信を行なった。



【申請事業】「地域の観光資源を活用したプロモーション事業」

##### ② 鉄道で巡る関東広域周遊促進事業

実施内容 関東広域の各地域へ、鉄道を活用した広域周遊ルートを確認するため、訪日外国人旅行者に向けた異国（日本）の鉄道の利用の仕方から東京起点のショートトリップの魅力を伝える a)訴求媒体（デジタルブック）を制作し、これに合わせた企画きっぷを紹介し b)オンライン広告による訴求を実施した。



【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

### ③ 上越新幹線沿線プロモーション事業

事業目的 豪州市場 FIT の誘客に対し、「ゴールデンルート」に代わる訪日ルートとして、JNTO が奨励する上越新幹線沿線の食文化・歴史のコンテンツを磨きあげ、着地型プログラムの企画・商品造成を推進し、実質的な地域への経済波及に繋げることを目的として事業を行った。

事業内容 a)豪州旅行会社招請事業

【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

## (2) アジア市場

### ① 台湾誘客促進事業

事業目的 台湾市場の誘客は、訪日リピーターならびに富裕層が多い北部と団体旅行を好む南部で特徴が分かれており、同国への訴求の差別化が求められることから、地域の差異を考慮した訴求事業を行い、同国からの誘客促進を目指すことを目的として事業を行った。

事業内容 a)旅行会社（在日ランドオペレーター）招請事業  
b)旅行博出展

【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

## II. 受入環境整備事業

滞在型コンテンツ造成事業から、鉄道会社各社が連携した企画切符の利用促進事業、WEBの情報発信基盤の整備、デジタル関連事業に関連するワークショップなど、幅広い領域での関東広域の訪日外国人旅行者の「受入環境の向上」を目指す事業を行った。

### (1) 欧米豪市場

#### ① 関東広域のデジタルコンテンツ収集機能等拡張事業

実施内容 近年、進展が進み、JNTOからも推奨されるデジタルプロモーション体制を充実されるため、WEBサイトの機能改修を行った。具体的には、過年度を含む各定率事業で実施した宣材を整理し、動画の設置、画像と連動したアクセス情報、情報発信ツール（デジタルパンフレット等）の掲載機能を追加した。これにより、アフター五輪以降の各都県のプロモーションを集約する受け皿としての機能を拡充、県境を意識しない訪日外国人旅行者の周遊旅行の有力な情報源となることを目指す事業を行った。

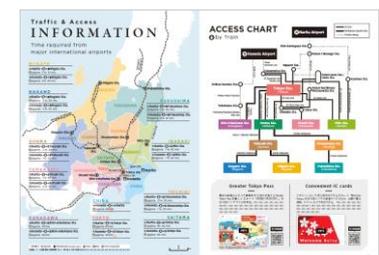


- ① 情報提供サイト（当協議会英語サイト）の機能拡張
- ② 各都県作成の情報発信ツールの掲載追加

【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

#### ② 1都10県観光デジタルブックコンテンツ制作事業

実施内容 コロナ禍の収束を見据えた反転攻勢に備え、ターゲット国に対して有効なテーマ性で整理した関東広域1都10県の観光コンテンツ及びそのアクセス情報等を有するデジタルブックを制作し、協議会HPを中心に各種媒体で情報発信を行なった。



【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

## (2) アジア市場

### ① TOKYO & AROUND TOKYO 訪日教育旅行誘致事業

事業目的 東京を起点とした広域関東での連携した柔軟性の高い教育力のコンテンツ及びルート提案が台湾教育関係者より求められている。本事業を通し既に実績のある東京を起点とした広域関東周遊教育旅行促進のために、環境整備やコンテンツの充実を台湾教育関係者に訴求することを目的として事業を行った。

事業内容 a) 訪日教育旅行関係者のセミナー・商談会の開催  
b) 台湾訪日教育旅行コースの造成・台湾教育旅行の催行  
c) デジタルパンフレット制作

【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

### ② 秩父・横瀬 寺坂棚田受入環境整備

事業目的 秩父地域へのインバウンド旅客の来場について、芝桜をはじめとする春季に集中している。これを受け、地域的・時間的な分散を図るため、「寺坂棚田」（運営：寺坂棚田保存会／横瀬町）と連携し体験型コンテンツを造成した。

事業内容 a) 体験型・滞在型コンテンツの造成

【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

### III. コンテンツ造成事業

東京に滞在する訪日外国人旅行者を積極的に広域関東に取込むため、魅力的なコンテンツの造成に努めた。観光庁の「訪日外国人旅行者周遊促進事業」だけでなく「ナイトタイムエコノミー推進にかかるコンテンツ造成事業」「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた実証調査を活用した事業も行った。

#### (1) 欧米豪市場

##### ① 「TOKYO WESTSIDE」 滞在型コンテンツ造成事業

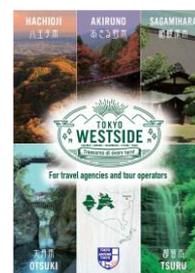
実施内容 新型コロナウイルス感染症収束後の「TOKYO WESTSIDE」の対象国への認知度向上を通じた訪日外国人旅行者の周遊および滞在の促進を目的に対象国に有効である滞在型コンテンツの企画開発、滞在促進のための広域周遊モデルコースを作成し 20 年度事業で作成した連携市の観光ポータルサイトに掲載、併せて SNS による情報発信を行なった。



【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

##### ② 「TOKYO WESTSIDE」 滞在型旅行商品造成事業

実施内容 在日の訪日外国人対象の旅行会社を招請し、連携市の滞在型コンテンツの視察を中心としたワークショップを実施、ワークショップでの意見交換をもとに各社、海外旅行会社へ提案する旅行商品を造成した。造成した旅行商品については招請の旅行会社を通じて海外旅行会社へ営業を行った。



【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

## (2) アジア市場

### ① 広域サイクリング整備促進事業

事業目的 台湾とタイのサイクリストを誘客ターゲットとし、広域関東周遊観光促進のための更なる環境整備や滞在コンテンツの充実など魅力的なサイクリングコンテンツの新たなコースを発信した。また、サイクリストの環境整備を推進しながら TOKYO & AROUND TOKYO における流通、宿泊数の増加に貢献する事業を行った。

事業内容 a) 広域サイクリングコースの造成  
b) デジタルパンフレットの制作  
c) 旅行会社招請  
d) TITF 出典・セミナー開催

【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

### ② 秩父地域における「メープル」コンテンツ調査・造成事業

事業目的 秩父地域の特産品であるメープルに着目し、地域のネイチャーガイドツアーの運営、製品化の過程の体験プログラム化、地元飲食施設との連携した食の提供等により地域ブランディング、観光コンテンツの開発に取り組んだ。

事業内容 a) 地域資源であるメープル関連リソースに関する調査  
b) メープル関連資源を活用したプログラムの企画  
c) 課題抽出のためのモニターツアー  
d) メープルをテーマとした地域の発信

【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」

### ③ 宇都宮ナイトライブコンテンツ造成事業

事業目的 宇都宮市内における「バー文化」や「地酒テイasting」、「居酒屋体験」や大谷資料館や若山農場の竹林などの「固有スポットの夜間活用」などについて同市のプレイヤーと連携した「ライブ感」をテーマにしながら、コンテンツの造成及び観光資源の磨き上げを行った。

事業内容 a) コンテンツ造成  
(ライブバーホッピング・宇都宮ライブテイasting  
ナイトバンブー&ロックツアー)  
b) コンテンツ造成検討会の開催  
c) 旅行商品造成のための旅行会社等の招請

【申請事業】「ナイトタイムエコノミー推進にかかるコンテンツ造成事業」

#### ④ 交通系 IC カードを活用した「ところざわサクラタウン」内外の旅客回遊促進事業

実施内容 日本最大級のポップカルチャーの発信拠点として開業した「ところざわサクラタウン」を中心に、交通系 IC カードのデジタル型スタンプラリーを実施した。これを事業の核として「ところざわサクラタウン」と既存の観光資源を「新たな技術」でつなぎ、市内回遊の魅力向上を通じ地域経済の活性化を図った。

【申請事業】「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた実証調査」

### IV. 調査・マーケティング事業

東京を中心に高度な鉄道網を有する当協議会エリアは、東京からの訪日外国人旅行者を周辺地域への送客するにあたり、鉄道の利用促進が欠かせない。そこで、今年度は鉄道利用場面において外国人目線でどのような改善が求められるのかを、具体的な施策毎に仮説をもって調査を行い、鉄道各社の今後のインバウンド施策に直結できる調査・考察を行った。

#### ① 訪日外国人旅行者の鉄道利用実態調査

実施内容 訪日旅行検討経験のある外国人への WEB 調査を行い、日本の鉄道旅行で感じた外国人目線での魅力と不便さ（難しさ）を明らかにした。また、新型コロナウイルス感染症に対する意識についても併せて調査した。結果の一例として、コロナ感染への不安は多く回答されていたものの、各鉄道会社の取組みを紹介した後の回答では安心を感じると高い評価が示された。

さらに、実地調査として、実際の鉄道利用を想定した行動パターンを設定し、在日外国人の目線（母国の親族・友人が日本に来て使うことを想定した目線）から関東広域の鉄道の利便性及び安全安心への評価での評価を行った。結果の一例として、事業者間乗継の場面や多言語案内には依然として課題があること、混雑場面の遭遇に懸念があるなどの意見が示された。両調査の結果に基づき課題の整理を行った。



▲在日外国人から評価の高い一例\_各社のコロナ対策



▲在日外国人が分かりにくいと懸念した一例

【申請事業】「訪日外国人旅行者周遊促進事業」